

2022年9月28日

2022年度 鈴木研究室 ガイダンス資料

演習の目標

「OR 概論」、「線形計画法」、「非線形・整数計画法」、「シミュレーション」の講義で学ぶ OR の理論や手法を用いて、実際問題を解決できるようにする。3年次に多くの演習問題を解くこと、さらに4年次で卒業研究に取り組むことで、自ら考えて問題を解決できる能力を身につける。⇒自ら考えることのできる OR の専門家を養成する。

3年次の演習 I、II、III、IV

OR の教科書の問題を解く (Hilliar & Lieberman, Introduction to Operations Research, 7th ed., McGrawhill)。1回の演習で、7, 8題の問題を解くのが目標。資料を作成して発表。ケーススタディーも行う。その際は PC と大型ディスプレイを用いて発表 (グループで)。その他に、企業などから提供されたケースを解決することも行う予定。

4年次の演習 V、VI、VII、VIII、卒業研究

3年次の続きと、卒業研究。卒業研究のテーマは、実際問題の解決。委託研究をしている企業からデータの提供をうける場合が多い。企業で役立つ OR の技術が身につく。
卒業研究のテーマ：システム数理学科の WEB ページ参照。

<http://www.ss.nanzan-u.ac.jp/dep/index.html>

卒業後の進路

企業に就職する人が多い。メーカー、ソフトウェア会社、運輸、銀行など多様。教職につく人も。大学院進学者実績 (2012年度2人、2013年度1人、2014年度2人、2015年度0人、2016年度1人、2017年度2人、2018年度0人、2019年度2人、2020年度2人 (うち外部から1名)、2021年度3人、2022年度1人 (予定))。大学院進学を強くお勧めします。

研究室訪問 (教員研究室：H412、学部学生研究室：H406)

教員への質問は随時受け付けます。10月3日から28日までの間に atsuo@nanzan-u.ac.jp に連絡をください。希望があれば、Zoom のアクセス情報を送ります。

その他

3, 4年次は勉強中心の生活。4年次の卒業研究は企業と一緒にすることが多い。実際問題を解決することを体験できる。3, 4年生合同の合宿、新歓コンパ、忘年会の行事あり (昨年、今年は新型コロナウイルスの影響で中止)。